

# 『型枠施工業務』

## 安全衛生のポイント

### 墜落防止措置 (足場等)

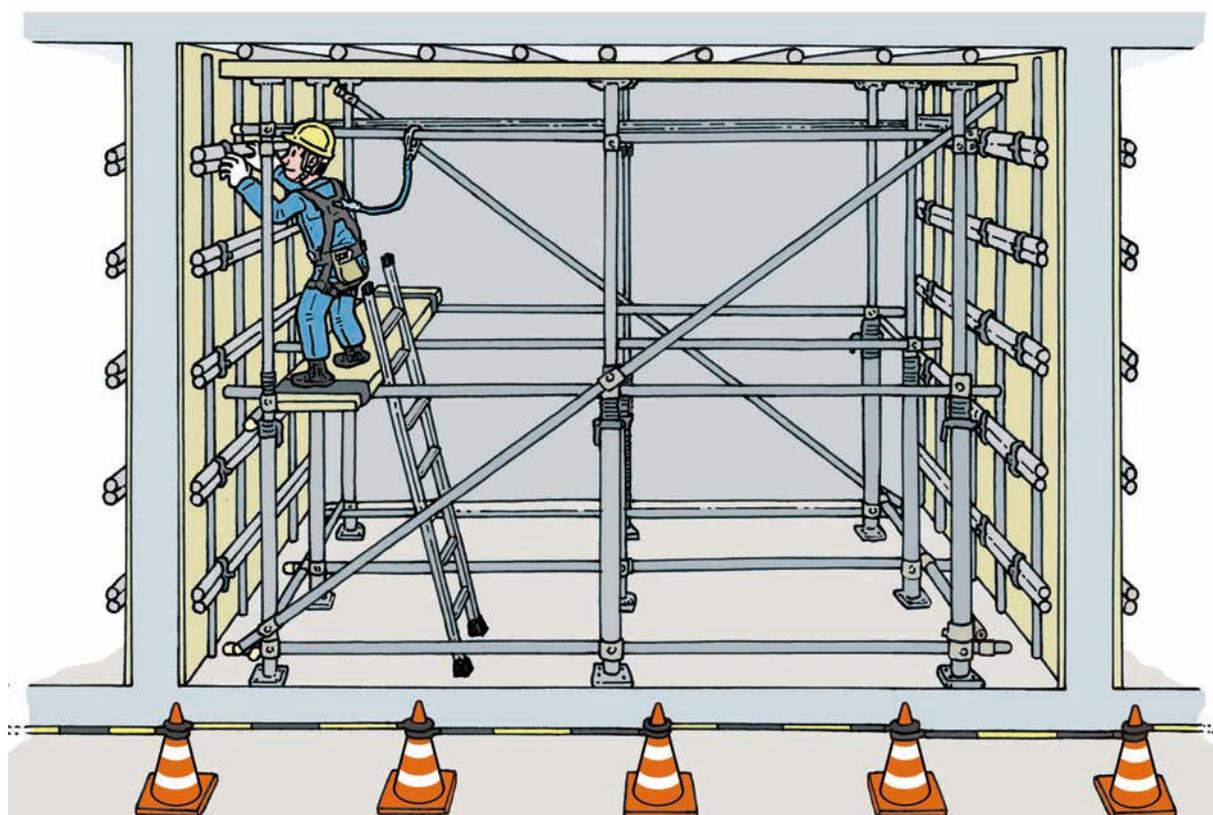
#### (1) 作業床



#### 守るべきこと

- ①地這配線には注意喚起し、覆いを設けるなど、つまずきを防ぎましょう。
- ②作業場内は常に整理整頓に心掛けましょう。
- ③敷板等の小さな段差の縁には色付をして注意喚起をしましょう。
- ④安全通路は区画またはマット、色付をして表示しましょう。
- ⑤資材仮置場所、作業区画などにはカラーコーンなどで区画し表示をしましょう。

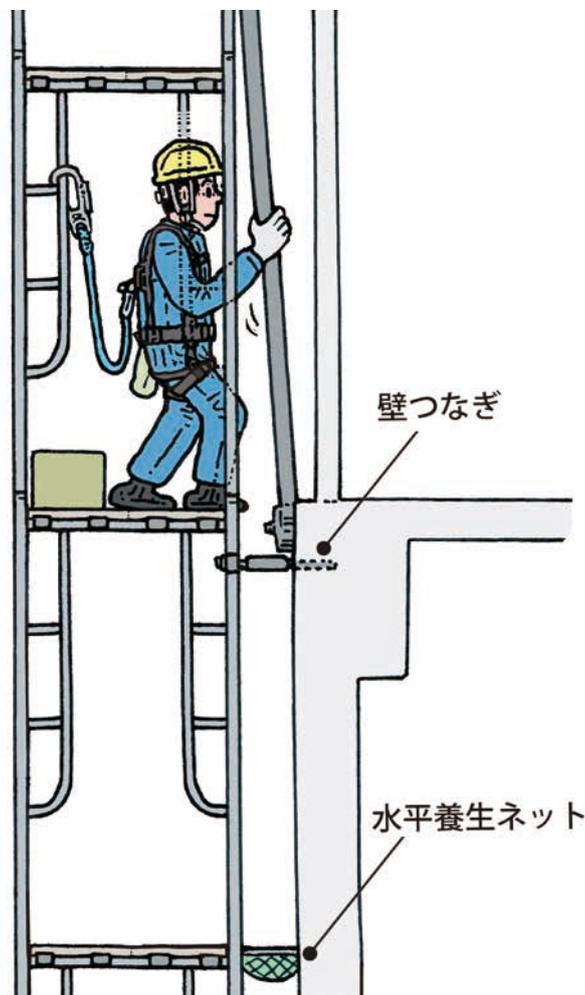
## （２）型枠支保工の基本的なこと



### 守るべきこと

- ①水平つなぎは2方向（X・Y）に取り付けます。
- ②水平つなぎはクランプ止めします。
- ③作業床は結束して使用します。
- ④昇降設備は固定して使用します。
- ⑤高所での作業は、墜落制止用器具（安全帯）を使用しましょう。

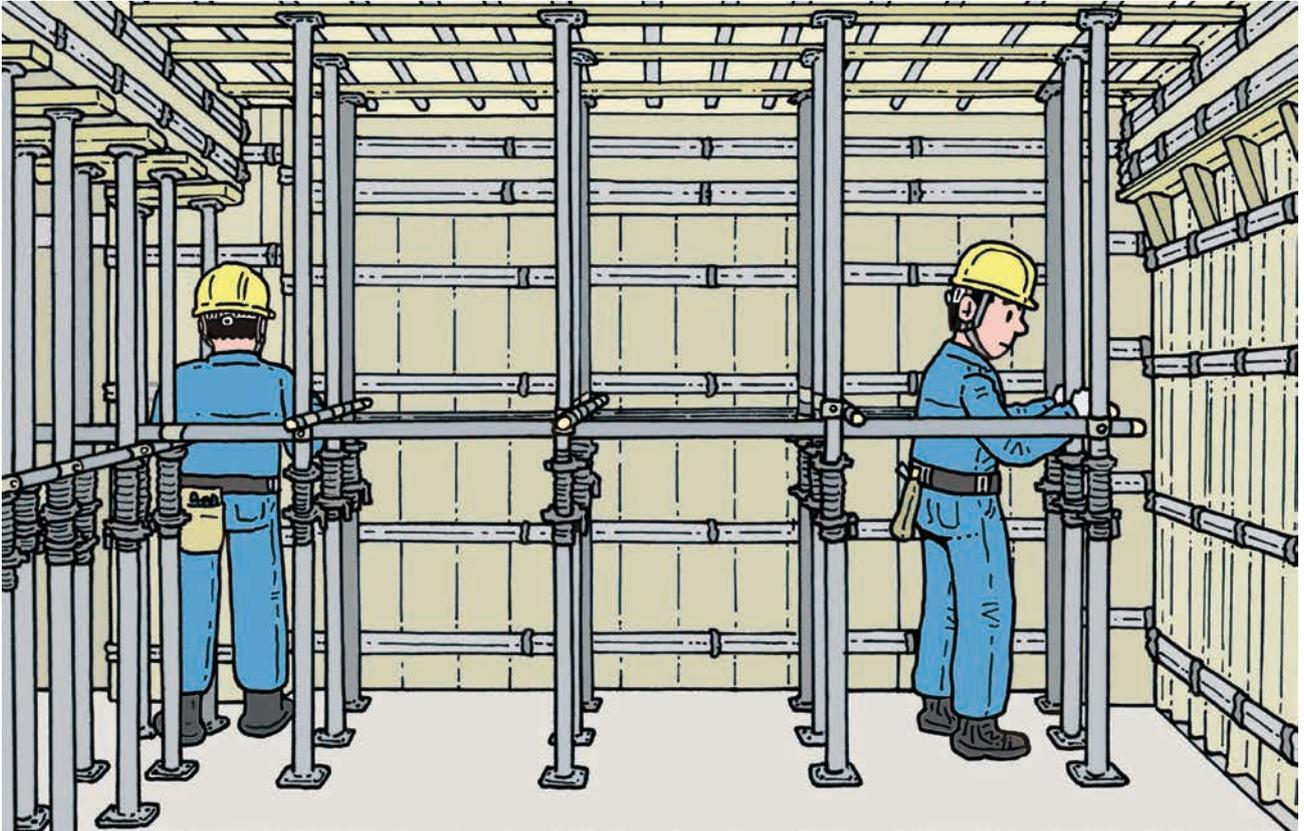
## （3）外壁パネル型枠の組立て



### 守るべきこと

- ①墜落制止用器具（安全帯）を使用しましょう。
- ②作業場所の下部は、立入禁止措置を行いましょよう。
- ③1フロア下に水平養生ネットがあることを確認しましょう。
- ④足場の壁つなぎを確認しましょう。
- ⑤強風時は、パネルが風にあおられるおそれがあるので、作業は避けましょよう。
- ⑥小物類は、墜落防止のため、コンテナ袋等に入れましょよう。

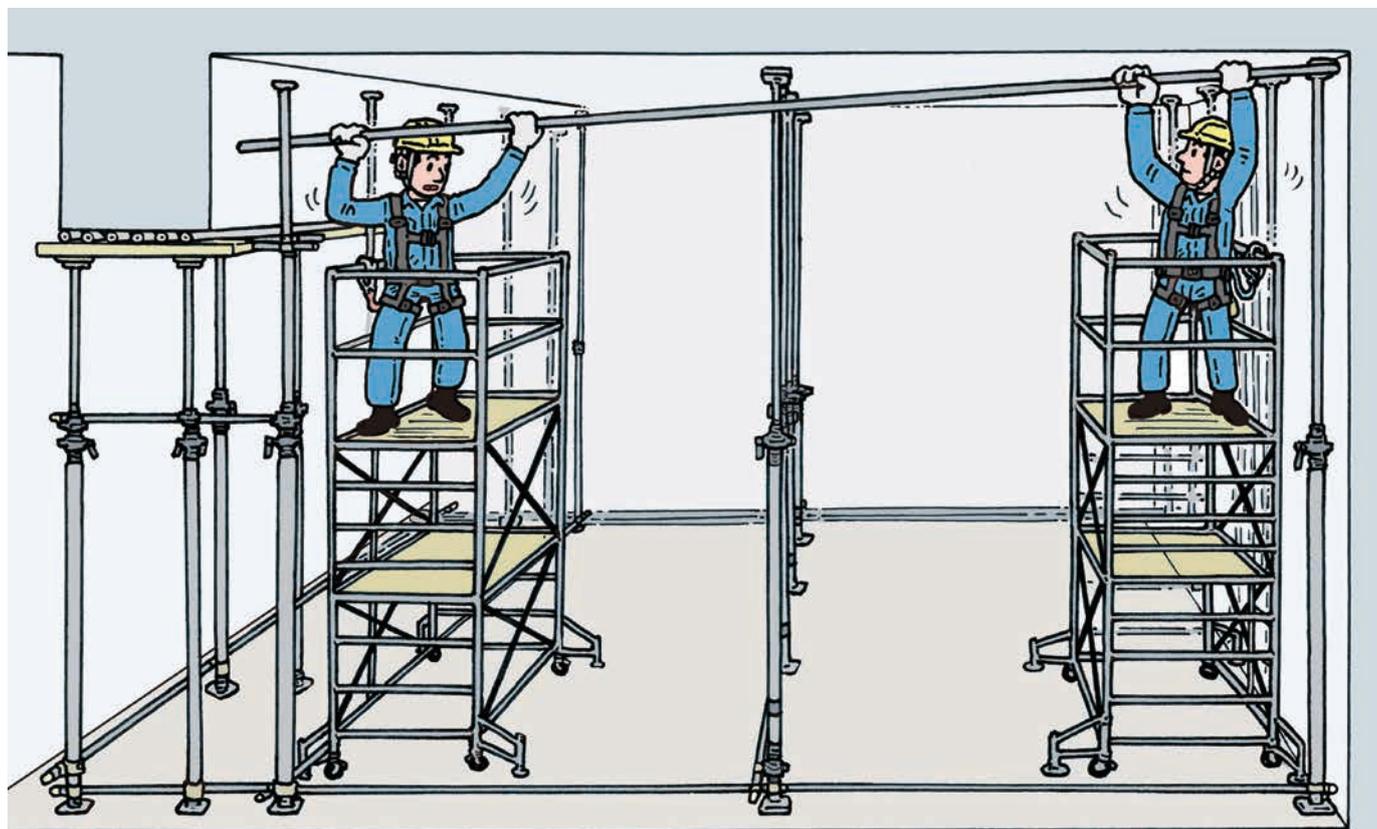
## (4) スラブ型枠組みの水平つなぎ



### 守るべきこと

- ①型枠支保工の倒壊防止のため、水平つなぎを設け、支保工の2方向を連結します。
- ②あらかじめ作成した組立図どおりの間隔にできているか確認しましょう。
- ③パイプの落下を防止するため、2人で声を掛け合って作業しましょう。
- ④根がらみは、クランプで締めた後、パイプの上には載ってはいけません。

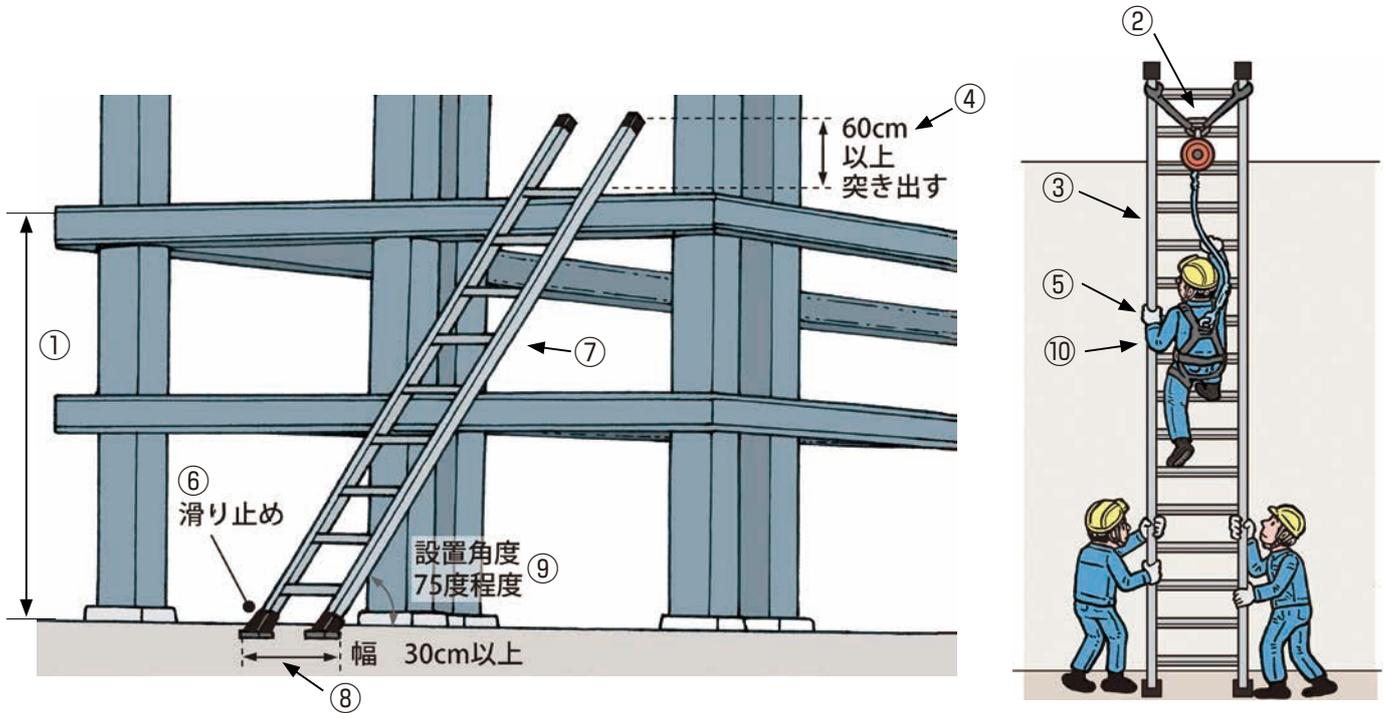
## (5) 型枠支保工の解体



### 守るべきこと

- ①あらかじめ定められた解体する順番を守りましょう。
- ②足場上には、資材を置かないようにしましょう。
- ③脚立、可搬式作業台、高所作業車を適正に使用しましょう。
- ④高さが2 mを超えるときは、墜落制止用器具（安全带）のフックを腰より高い位置に掛けて使用しましょう。
- ⑤周囲に「立入禁止」の表示をし、人を立ち入らせないようにしましょう。
- ⑥単独での作業は行わず、2人以上で行いましょう。

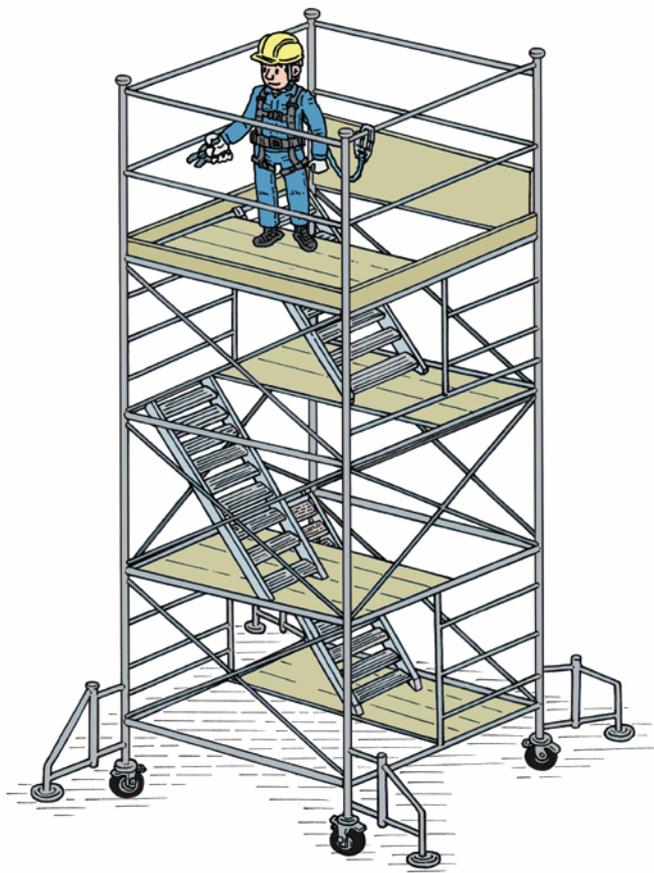
## (6) 移動はしご



### 守るべきこと

- ① 高さ、深さ 1.5 m を超える時は、安全な昇降設備を設けましょう。
- ② 墜落の危険性があるときは、親綱とロリップを使用しましょう。
- ③ はしごは安定した場所で使用しましょう。
- ④ はしごの上部は 60cm 以上突き出しましょう。
- ⑤ はしご上で反動のかかる作業はしないでください。
- ⑥ 滑り止めゴム付のはしごを使用しましょう。
- ⑦ 踏みさんは、等間隔に設置しましょう。
- ⑧ はしごの幅は 30cm 以上のものを使用しましょう。
- ⑨ 設置角度は 75° 程度にしましょう。
- ⑩ 手に物を持たずに昇降しましょう。

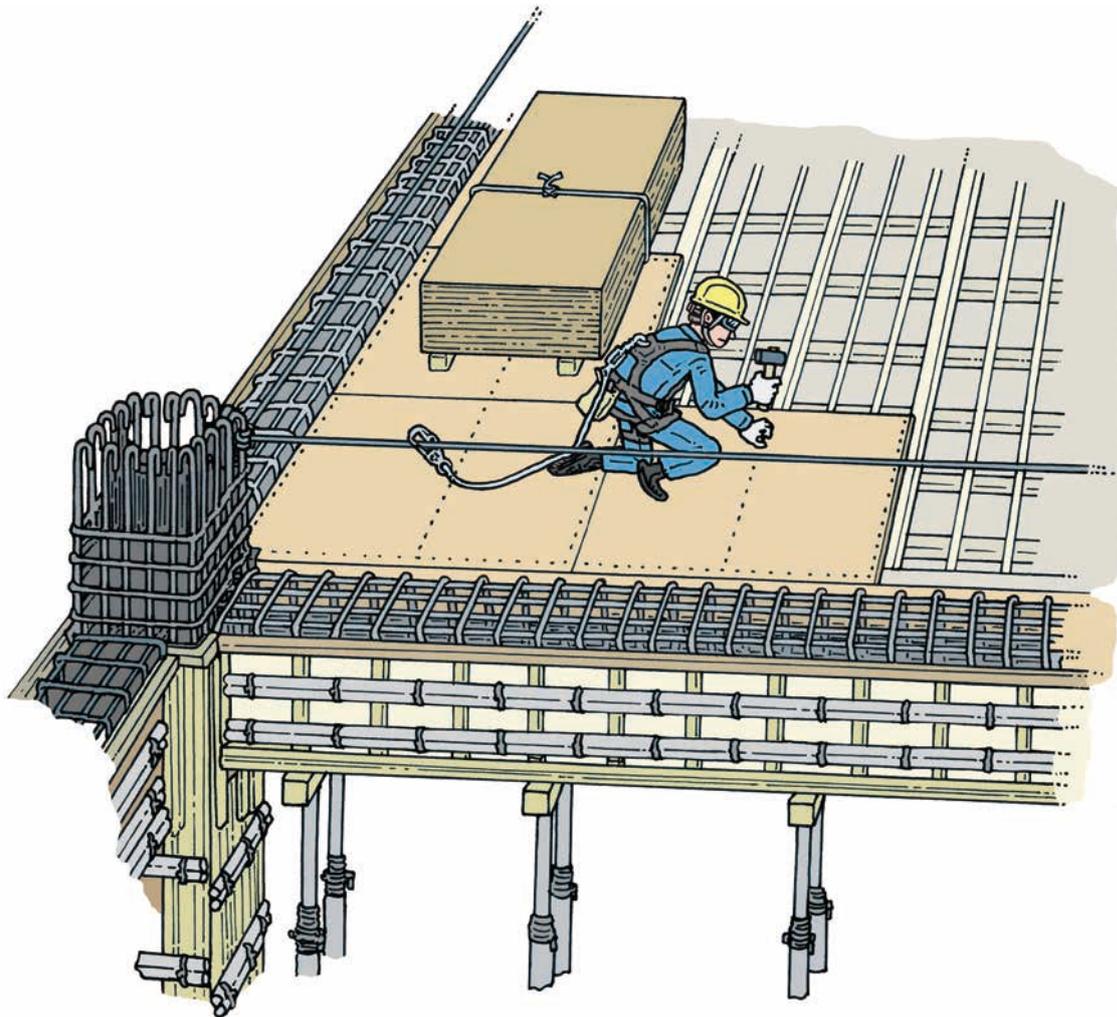
## (7) ローリングタワー



### 守るべきこと

- ①墜落制止用器具(安全帯)を使用しましょう。
- ②昇降設備のあるものを使用しましょう。
- ③手に物を持たないで昇降しましょう。
- ④キャスターのブレーキが4輪に付いているものを使用しましょう。
- ⑤アウトリガーは正しく設置しましょう。
- ⑥人を乗せたまま移動してはいけません。
- ⑦制限高さ以下で使用しましょう。
- ⑧取扱責任者の表示をしましょう。
- ⑨積載荷重の表示をしましょう。
- ⑩作業床で脚立等を使用してはいけません。
- ⑪高さ85cm以上の手すり付きのものを使用しましょう。

## (8) スラブ上作業



### 守るべきこと

- ①作業主任者(型枠支保工作業主任者)の指示に従って作業しましょう。
- ②スラブ上へは必ず昇降設備を使用しましょう。
- ③墜落制止用器具(フルハーネス型安全帯)を使用しましょう。
- ④作業中は下部の立入禁止措置を行いましょ。
- ⑤スラブ端部には親綱を張りましょ。
- ⑥後ろ向きではなく、前向きでの作業をましょ。
- ⑦スラブ上資材は都度、結束ましょ。